

佐藤 影美

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 博士課程

ドイツの介護保険：経済指標の観点からの展開状況の分析 追跡調査

本研究は Sato(2005)の追跡調査を行い、現在のドイツ連邦共和国の公的介護保険制度を巡る状況と問題を考察することを目的とする。16 連邦州を以下の 3 グループに分類した。1 古くから存在する旧西ドイツを中心とする 8 州、2 旧東ドイツを中心とする新しい 5 州、および 3 都市を中心とする 3 州である。1999 年、2001 年、2003 年、2005 年を対象に、社会経済状況に関連するデータ、個人の経済状態に関連するデータ、施設及び在宅サービスに関連するデータを使用した。これらのデータを分析した結果、公的介護保険制度を巡る状況に地域に格差のあることが認められた。また、ドイツ全体の傾向として、65 歳以上高齢者数に対する要介護者数がほぼ一定率で推移をしているという結果から、要介護者認定に何らかの政策的な対応の存在することが示唆された。